

桜の剪定



福島市では、約10年前に市民から多数の桜の苗木の寄贈を受け、荒川沿いに植樹しました。しかし、手入れが不十分で、桜の木も大きくなり枝も伸び放題でした。荒川づくり協議会では、昨年より剪定作業に参加しており、寒気きびしい中2月16日に会員を含め約20名が参加し、2時間ほど取り組みました。桜の木を野尻樹木医の講習を受けながら、不要な枝や病気の枝を切り落とす作業を行いました。



8月20日(土) 鳥子平～自修団より幕滝まで

12名が参加し荒川の源流鳥子平に足を延ばし、ウグイスの鳴き声の中、木道を歩き湿原のモウセンゴケ、ミヤマキリソウ、ツルコケモモなどを観察しました。コバノギボウシの紫の花が印象的でした。Uターンし自修団に車を止め、幕滝まで幕川を歩き水生生物や水質の調査をしました。幕川温泉で風呂に入り



昼食をとりました。

次回10月15日の天沼のへつり探訪は雨で中止となりました。

荒川探訪会



水質・水生生物調査



6月12日(日)・7月10日(日)
9月25日(日)・12月4日(日)の4回
桜つつみ・荒川橋下流・地藏原堰堤の3ヶ所

荒川の河川環境保全の資料収集を目的とする定点調査は3年目に入り、植物・魚類・底生動物(水生昆虫、貝、甲殻類など)・昆虫・鳥類・両生類・爬虫類などの種類や数を調査しました。同時に水質調査も行いました。

